

## ■ グループ紹介

## 高砂熱学工業(株)総合研究所

## 1. はじめに

当社は、大正12年に暖房工事を事業とする高砂暖房工事株式会社として設立され、以来、「技術の高砂」をモットーとして空調設備の設計・施工を主体として事業を拡大してきた。この間、空調設備に関する数多くの技術を開発、発展させるとともに、業界のリーダーとして社会に貢献してきた。

今日においても、空調設備の設計・施工を基盤事業とすることに変わりはないが、対象分野を拡大するとともに、関連事業を加え、「人の和と創意で社会に貢献」を社是として、研究開発から設計、施工、サービスまでトータルエンジニアリング会社として機能している。

## 2. 総合研究所の概要

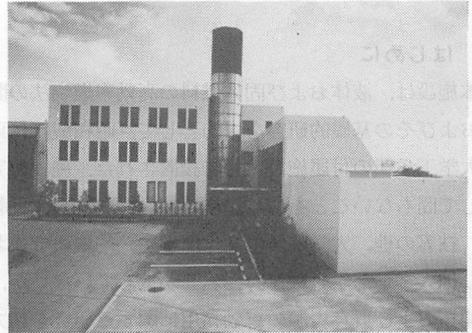
当研究所は、昭和46年、神奈川県厚木市に総合技術センターの一部として建設された。当初は冷却塔、乾燥装置、除湿装置などの産業設備の実験所として機能していたが、次第に機能を拡大し、研究所として機能するに至った。しかしながら、高度化する先端産業のニーズに対応した研究開発を推進するには、施設が手狭になったため、大形実験棟を除く全ての施設を解体し、地下1階地上3階の研究所本館を昭和59年12月に建設した。

当研究所は、技術本部に所属しており、厚木の他に宮城県と東北大学工学部によって設立された東北産業技術会館内に仙台分室を有している。所員は約30名であり、基本技術の研究から開発までを担当している。

## 3. 最近の技術開発

当社は、空調設備の設計・施工を基盤として事業展開を行ってきた。これにともなって基本技術の範囲も拡大してきた。一方、基盤事業としての空調設備においても、要素技術の高度化のみならず、省エネルギー技術、運転管理技術などの高度化が要請されている。当研究所は、基本技術の研究開発と上記の要請に対応した研究開発に意欲的に取り組んできた。

最近の技術としては、「SECTA」と呼ぶ一連のマイコンを用いた局所最適制御システムを精力的に開発し



てきた。これらは、建築設備としての厨房や駐車場の空調換気設備、工場の空調換気設備、工業用冷却塔、除湿装置、放射線やバイオハザード対策設備、クリーンルームなど多岐にわたっている。SECTA シリーズは、制御の高度化と省エネルギーをねらいとしたシステムであり、それぞれの分野で高い評価をいただいている。

環境の高精度制御を対象とするシステムとしては、塵埃を制御するL S I工場などのクリーンルーム、細菌を制御する医薬品工場などのバイオリジカルクリーンルーム、高精度の温度制御を実現したサーマルチャンバー、低露点の乾燥空気を供給するドライルーム、省エネルギー機器としては、冷却塔用自動可変ピッチ軸流送風機などを開発し、御好評をいただいている。

## 4. おわりに

当社は、人間を対象とする快感空調、製造工程や製品を対象とする産業空調ならびに各種の産業設備の設計・施工を事業の主体としている。

先に述べたように、近年、これらの分野においても要素技術の高度化、省エネルギー化、コンピューターによる制御・管理技術の高度化などの要請が一段と高まっている。

当研究所は、これらの要請に応えるための研究開発の他に、新規事業を展開するための研究開発にも意欲的に取り組んでいる。皆様の御指導と御鞭達をお願いする次第である。

所在地：〒243-02 神奈川県厚木市飯山3150

(文責：所長 岡田孝夫)